

【添付資料11】収蔵資料の概要

- 現時点で市が所有している収蔵品をもとに、新博物館における収蔵計画の考え方を示しています。
- これらを収蔵できる各収蔵庫の計画及び棚等の什器備品の調達、配置等を事業者に行っていただきます。

収蔵予定場所	種別	種類	収納予定数量	想定される収蔵形態	現収蔵状況	現収蔵場所	備考
収蔵庫1	考古資料	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・土製品・瓦・その他土器類・陶磁器・石製品・骨製品・貝殻・石棺 等	約1,200箱	・スチール棚 ・すのこ平置き	スチール棚に収蔵 コンテナ 40×60×20cm 40×60×15cm 40×60×10cm 40×60×40cm 平置き(棚、床) 模型、固定ケース	郷土博物館 (収蔵庫・収納室・展示室)	石棺はかなりの重量のもあり 土器類・埴輪にはコンテナに入らず平置きが必要なサイズのものあり
			約1,200箱		平積み コンテナ: 40×60×20cm 40×60×15cm 40×60×10cm 40×60×40cm 80×80×80cm	俊徳道倉庫	考古特A資料、一部大サイズのコンテナあり
	民具	農耕具、木綿生産関連資料、水車産業関連資料、漁労具、生活関連資料、信仰関連資料、玩具、年中行事関連資料、書籍、新聞 等	約9,000点	・スチール棚 ・すのこ平置き	壁付け棚、スチール棚に収納 一部コンテナ収納: 40×60×20cm 40×60×15cm 40×60×10cm 40×60×40cm	郷土博物館 (収納室)	棚に直接収納しているものが多い 機織機、タンス等平置き資料あり 収納室85㎡に収まっている
		農耕具、生活関連資料 等	約100点		スチール棚に収蔵 大きな農具は平置き	八戸ノ里倉庫	木綿製作資料、生活関連資料を選定して収蔵
収蔵庫2	民具・文書	木綿・繊維資料・古文書	約400箱	・スチール+中性紙ボード棚 ・すのこ平置き ・屏風用棚	壁付け棚に収納 モスボックス: 40×70×20cm 40×70×15cm	郷土博物館 (収納室)	市指定木綿関連資料含む
		古文書・行政文書・民具	約200箱		スチール棚、一部平積み 中性紙箱	俊徳道倉庫	寄贈・所蔵資料を中心に収蔵予定
特別収蔵庫	考古資料・美術 工芸品	木製品・木棺・金属製品・仏像	約100箱	・スチール+木製棚 ・すのこ平置き ・デシケータ	スチール棚・木製棚・デシケータ コンテナ: 40×60×20cm 40×60×15cm 40×60×10cm 40×60×40cm 30×100×10cm 30×150×10cm	郷土博物館 (収蔵庫)	金属製品はデシケータで湿度管理 木棺側板は棚に平置き
		木製品・金属製品・ガラス製品・仏像・掛軸	約100箱		スチール棚(一部木製) 40×60×20cm 40×60×15cm 一部木製品平置き	俊徳道倉庫	杭など長めの木製品はスチール棚の最上段に平置き 仏像はすのこに乗せて平置き
	借用資料	屏風・土器・埴輪・瓦・刀剣・武器・仏像・絵画・工芸品等		・スチール+木製棚 ・すのこ平置き ・屏風用棚			近隣市町村公共施設所有・管理の重要文化財 市指定文化財